

(1) 1級水系流域治水プロジェクトに基づく 各種対策のフォローアップについて

※各構成員にて今年度実施いただいた取り組み内容及び次年度以降の取り組み内容の御報告と各種対策の代表事例をご紹介します。

雨竜川外地域部会

- 滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、
奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、
妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町、
沼田町、幌加内町
- 札幌管区気象台
- 旭川地方気象台
- 空知森林管理署、空知森林管理署北空知支署
- 北海道水源林整備事務所
- 空知総合振興局
- 上川総合振興局
- 札幌開発建設部

滝川市、奈井江町、浦臼町、新十津川町、
妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町、
沼田町、幌加内町

【滝川市】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	普通河川の伐開及び浚渫・浸水センサの設置	

実施主体：滝川市

■令和7年度 取組内容

・R7年度においては、普通河川「第2熊穴川」「深沢川」「第1江部乙川」「駄馬の沢川」において伐開・浚渫を実施したほか、低コストで河川敷や雨水柵内部への設置が可能な「浸水センサ」を設置することで浸水の発生状況を迅速に把握し防災行動につなげる。

実施前

駄馬の沢川での伐開・浚渫



実施後

駄馬の沢川での伐開・浚渫



ワンコイン浸水センサの設置



次年度に向けた予定 など

・引き続き普通河川の伐開及び浚渫を進め、水位上昇の軽減や氾濫防止を図る

【滝川市】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	水害対応タイムラインの運用を推進	

実施主体：滝川市

■令和7年度 取組内容

- ・ 例年同様に滝川市水害タイムライン運営協議会に係る会議を開催したほか、市民を対象とした防災教室及び研修会を実施した。

避難所体験会



DIG(災害想像カゲーム)を活用した防災講座



次年度に向けた予定 など

- ・ 訓練を通じて「石狩川滝川地区水害タイムライン」の運用の実行性を確保し、必要な改善を図る。
- ・ 市民を対象とした各種防災研修等を行い防災意識の高揚を図る。

【奈井江町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：奈井江町

令和7年度 取組内容

- 自然災害による内水被害に備えるため、町内2地区にある排水機場の維持管理を行い、「流域治水」の推進を図るとともに田んぼダムへの普及啓発の実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

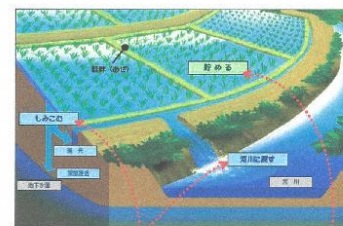


被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

大雨時に見込まれる田んぼの効果（田んぼダム）について

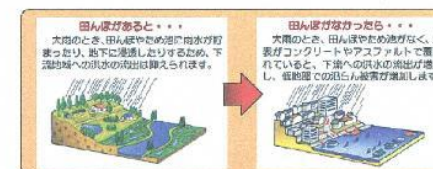
みんなに思いやりの心を伝えているだけでなく、田んぼは自然災害を未然に防ぐ役割があることを知っていますか？

- 田んぼは「自然」に由来しており、雨水を貯めることができます。10aあたり約200mm（約50リットル）の水を貯めることができます。この水は約200a程度の田んぼに貯められます。
- 大雨が降った時には、田んぼがダムのように水を貯めて、徐々に水を放つことで、田んぼが持つ自然の力で洪水を減らすことができます。また、田んぼが持つ自然の力で洪水を減らすことで、田んぼが持つ自然の力で洪水を減らすことができます。



田んぼの水はどのようにして自然災害を軽減し、洪水を防ぐのか？

田んぼは、自然の力で洪水を減らすことができます。また、田んぼが持つ自然の力で洪水を減らすことで、田んぼが持つ自然の力で洪水を減らすことができます。



また、今年各地で異常な大雨が多発しています。降り止んだ後は、復旧や排水路を道などで初川へ流れ込み、特に下流地域は洪水被害を懸念。復旧などに洪水被害をたらしめます。しかし、農業者の力を活用して水田に雨水を貯めることにより洪水被害を最小限にすることができます。

田んぼダムは、自分たちの地域を自分たちで守る取り組みですが、より多くの田んぼで取り組まれることで、効果を発揮するものであり、様々な農業者の皆さんご協力により実施されるもので、災害に備わらない安心、安全な町づくりのため、田んぼダムの取り組みにご理解、ご協力をお願いします。

次年度以降の取組

排水機場の機能が十分に発揮されるよう、適正な維持管理に努める。
パンフレット等で田んぼダムへの啓発を継続する。

【奈井江町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

実施主体：奈井江町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	
対策内容	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	

■令和7年度 取組内容

- 町民に対して迅速かつ確実に防災情報を伝達する仕組み「防災行政無線整備」を行い、市街地の屋外スピーカーの設置や公共施設等の放送設備を活用した情報伝達の仕組みを構築する他、既存の登録制メールや固定電話、FAX、LINEでの情報配信の仕組みに加え、新たに防災アプリを導入し、令和8年3月末より共用開始する。

屋外スピーカー設置箇所

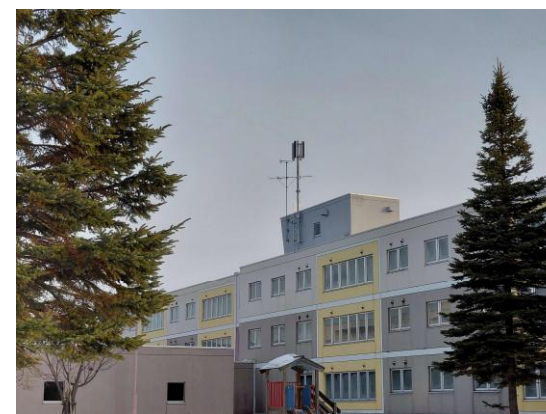
奈井江町役場



奈井江町体育館



公営住宅



次年度に向けた予定 など

- 令和7年度に速やかに確実な防災情報の伝達を行うため、「防災アプリ」をより多くの町民等の利用促進に向け、各種イベントや会議等での普及啓発を図る。

【奈井江町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	
対策内容	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	

実施主体：奈井江町

■令和7年度 取組内容

- ・ 地域包括支援センターの役割である要援護高齢者及び要援護となるおそれのある高齢者並びにその家族等の福祉の向上を図り、効果的な予防サービス及び地域ケアの総合調整を行う奈井江町地域ケア会議において、医療施設関係者、介護事業所職員等に対し、奈井江町防災ガイドマップ(ハザードマップ)について情報交換を行った。

奈井江町防災ガイドマップ(ハザードマップ)情報交換



奈井江町防災ガイドマップ(ハザードマップ)



次年度に向けた予定 など

- ・ 今後も、地区などの防災訓練や防災セミナー、会議等々での説明し、いつ、どこで災害が発生しても落ち着て行動できるよう、防災意識の向上を図っていきたい。

【奈井江町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	
対策内容	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	

実施主体：奈井江町

■令和7年度 取組内容

・防災道の駅に指定されている、道の駅「ハウスヤルビ奈井江」で開催された「ないえ冬まつり」会場において、国土交通省北海道開発局札幌開発建設部や北海道札幌方面滝川警察署、民間事業所の協力いただき、地域における住民の防災意識の向上を目的に、イベント内で防災に関する展示等々を実施

国土交通省北海道開発局札幌開発建設部

奈井江町



北海道札幌方面滝川警察署

損害保険ジャパン株式会社



次年度に向けた予定 など

・防災道の駅に指定された、道の駅「ハウスヤルビ奈井江」を拠点とし、地域の枠を超えた広域的な支援活動の防災拠点として防災意識の向上を図る。

【浦臼町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

実施主体：浦臼町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	護床整備工事の実施	

令和7年度 取組内容

大雨などによる出水により、護床ブロックに損傷が見つかったため、早急に整備を実施した。

実施前



実施後



令和8年度以降 河川の護岸改修工事を予定

【浦臼町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

実施主体：浦臼町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	護床整備工事の実施	

令和7年度 取組内容

- 農業施設(田んぼダム81.6ha)により、雨水を貯留し、内水氾濫被害を軽減。

実施内容



浦臼町 田んぼダム 流域貯留施設(平常時)

令和8年度も同面積にて継続して取組予定

【新十津川町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：
新十津川町

令和7年度 取組内容

- ・町管理河川の浚渫事業の実施
- ・地元農家等で構成される河川愛護組合による町内13河川の草刈りの実施

河川浚渫事業



河川愛護組合による河川の草刈り



次年度に向けた予定

- ・河川堆積土砂管理計画に基づく町管理河川の浚渫事業の実施
- ・河川愛護組合による町内13河川の草刈りの実施

【新十津川町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	
対策内容	突然の豪雨に際し、小規模排水路への過大な水の流出を防ぐために田んぼダムを行う環境を整備。	

実施主体：
新十津川町

■令和7年度 取組内容

- 令和7年度では町内で行われている農地整備事業により区画拡大されたほ場の落口に水位調整ゲート付き落口柵を設置し、田んぼダムを行う環境が出来上がっている。

設置状況



実施内容(深水状態)



農地整備事業は毎年町内で実施されており、ほ場の区画拡大も行われている。区画拡大が行われているほ場の落口柵も水位調整が可能な柵を施工し、田んぼダムを行うことが可能なほ場は年々増加しており、豪雨時の過大な排水への流出防止を行う環境が整えられている。

【妹背牛町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

実施主体：妹背牛町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	普通河川の河道掘削・排水機場の整備	

令和7年度 取組内容

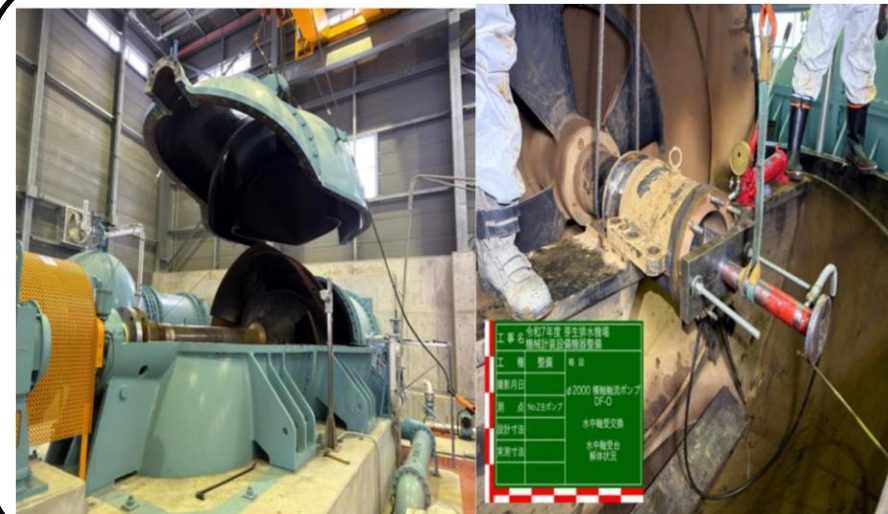
- 令和7年度においては、継続実施している普通河川の河道掘削の実施、及び排水機場の整備を行った。また、田んぼダムが速やかに実施できるよう関係協力者への周知を図った。

実施内容

実施内容



樹木伐採・河道掘削



排水ポンプ整備

次年度に向けた予定

令和8年度は、農業用排水路の堆積土砂の掘削及び排水機場の整備を継続する。

【秩父別町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	河川災害から流域を守る対策	

実施主体：秩父別町

■令和7年度 取組内容

- ・R7年度においては、前年度に引き続き農業用施設による流出抑制対策(田んぼダム)の推進を図った。
令和7年度は7月19日(土)に実施

実施内容



次年度以降も、農業用施設による流出抑制対策(田んぼダム)を継続的に実施出来るよう、流域治水の推進を図っていく。

【秩父別町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	町民等を対象とした、防災意識の啓発活動	

実施主体：秩父別町

■令和7年度 取組内容

・町民等を対象とした防災訓練や小中学生を対象とした1日防災学校を開催し、避難所の設営やAEDの使い方講座、心臓マッサージ体験、備蓄食糧試食体験など災害時の行動等について学びました。

実施内容



9/11 1日防災学校 心臓マッサージ体験

実施内容



11/29 秩父別町防災訓練 避難所設営訓練

次年度以降も、自主防災組織を主体とした地域住民参加による防災訓練を継続的に実施し、流域治水の推進を図っていく。

【雨竜町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	崩壊及び洗堀をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	農地を守る護岸対策	

実施主体：雨竜町

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、鴨居沢川の崩壊しかけていた法面の被害拡大を防止するため護岸工事を実施した。

実施前



実施後



令和8年度以降については幹線排水路の浚渫工事を実施予定。

【北竜町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

実施主体：北竜町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	普通河川の河道掘削及び伐木事業	

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、普通河川御料川の河道掘削及び伐木事業を実施し「流域治水」の推進を図った。

実施前



・御料川浚渫工事

実施後



・御料川浚渫工事

- 普通河川の河道掘削及び伐木事業(R8年度～R11年度 8河川予定)

【北竜町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	普通河川の護岸整備事業	

実施主体：北竜町

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、普通河川(尻無川・上田川)の護岸整備事業を実施し「流域治水」の推進を図った。

実施前



・上田川護岸整備工事

施工中



・上田川護岸整備工事

- 普通河川の護岸整備事業(R8年度～R12年度 8河川予定)

【北竜町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

実施主体：北竜町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	排水機場機能回復事業	

■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、碧水排水機場の更新する主要機械を製作し「流域治水」の推進を図った。

機場外部



・碧水排水機場

機械室内部



・碧水排水機場

- ・ 排水機場機能回復事業(R5年度～R10年度 碧水排水機場)

【北竜町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

実施主体：北竜町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	田んぼダム	

■令和7年度 取組内容

- ・ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策として農業施設(田んぼダム)により、雨水を貯留し、内水氾濫被害を軽減し「流域治水」の推進を図った。

田んぼダム



・田んぼダム(写真左が河川)

田んぼダム



・落水量調整装置等を活用

- ・ 次年度以降未定

【沼田町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

実施主体：沼田町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

令和7年度 取組内容

- 東部地区及び西部地区活動組織で農業施設(田んぼダム)による雨水貯留を継続して取り組むとともに、町管理河川等の施設では、側溝の断面確保のための浚渫等を行い、計画的な河川等の管理により、「流域治水」の推進を図った。

実施内容

実施内容

農業施設(田んぼダム)による雨水貯留

【水位調整板による田んぼダムの様子】



町道北竜1号線側溝浚渫



【浚渫 施工前】



【浚渫 施工後】

次年度に向けた予定 など

河川等の浚渫・河道掘削・伐木等の実施を継続、河川維持管理計画策定の検討を継続、農業施設(田んぼダム)による雨水貯留を継続、各種防災訓練・研修等の実施を継続など、状況に応じた流域治水事業に取り組む。

【沼田町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	水害対応タイムラインの運用を推進	

実施主体：沼田町

■令和7年度 取組内容

- ・ 東部地区及び西部地区活動組織で農業施設(田んぼダム)による雨水貯留を継続して取り組むとともに、町管理河川等の施設では、側溝の断面確保のための浚渫等を行い、計画的な河川等の管理により、「流域治水」の推進を図った。

実施内容

防災訓練及び防災研修の実施・自主防災組織設立に向けた啓発・防災資材の調達

【沼田町総合防災訓練実施の様子】【防災デイキャンプ実施の様子】

【防災研修実施の様子】



次年度に向けた予定 など

河川等の浚渫・河道掘削・伐木等の実施を継続、河川維持管理計画策定の検討を継続、農業施設(田んぼダム)による雨水貯留を継続、各種防災訓練・研修等の実施を継続など、状況に応じた流域治水事業に取り組む。

【幌加内町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

実施主体：幌加内町

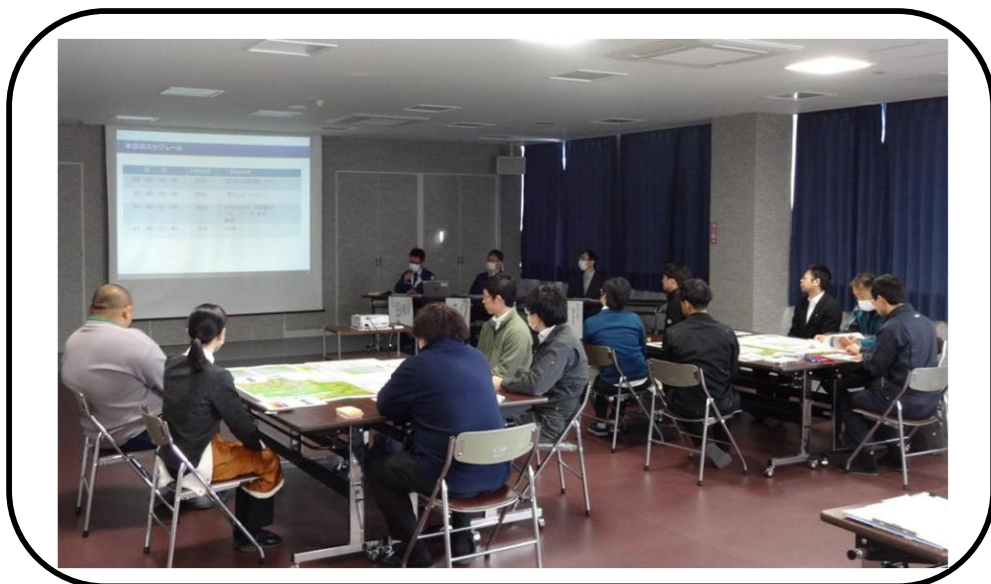
	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	職員防災教育	

令和7年度 取組内容

役場一般職向けの研修として、気象台が発表する「気象情報」と「その他防災気象情報」を活用して、地域住民の避難に関する判断等の参考にしてもらうことを目的として、旭川地方気象台の方を講師として招き、研修会を開催した。

「気象防災ワークショップ」を、開催することにより、気象台が発表する各種防災気象情報の見方及び意味を正しく認識でき、今後の防災活動に参考にする事ができた。

実施内容



実施内容



今後は、管理職員等の職員へ同研修を行い、職員全体が気象情報を有効的に活用できるようなスキルを持つ環境構築を目指す。

【幌加内町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

実施主体：幌加内町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	「防災教育に関する取組状況、今後の予定」	

令和7年度 取組内容

幌加内中学校を会場で、洪水や土砂災害に備えるため、生徒の災害時の「生きる力」をはぐくむ取り組みとして、北海道開発局と上川総合振興局の協力のもと、防災学習と降雨体験学習を実施した。

実施内容



実施内容



地域住民を交えた総合的な訓練により、避難時の心構えや避難方法等の理解を深め、災害の防災意識の向上を図る

【幌加内町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	災害対策懇談会	

実施主体：幌加内町

令和7年度 取組内容

役場2階大講堂にて、各地区長等約30名の方を対象とした、防災懇談会を実施した。

例年の雨期に入る前に、ゲリラ豪雨(大雨降水)等に伴う雨竜川氾濫に備える心構えを「気象台」、「北海道 危機対策推進幹」、「滝川河川事務所」等からご説明を頂きました。

また、雨竜川(朱鞠内)ダムの嵩上げ予定事業内容の説明を「雨竜川ダム事業所」から、道河川の改修部分を「上川総合振興局旭川建設管理部」からご説明を頂きました。

関係機関(北海道開発局、気象台、上川総合振興局、北海道電力、森林管理署、警察等)から約18名のご参加いただき、町民の方への情報共有を行う事ができた。

実施内容



実施内容



例年同様、次年度も同様に開催を予定とする。

札幌管区气象台
旭川地方气象台

【気象台】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発	

実施主体：
札幌管区気象台
(雨竜川外地域部会)

■令和7年度 取組内容

①平時における地域防災支援

防災講座や防災訓練での講演や自治体との懇談をとした防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動、防災訓練での気象シナリオ作成協力

- ・ 空知総合振興局及び関係する全13市町（滝川市・砂川市・歌志内市・深川市・奈井江町・上砂川町・浦臼町・新十津川町・妹背牛町・秩父別町・雨竜町・北竜町・沼田町）と、個別の懇談を実施した。
- ・ 空知地方防災担当者会議において市町防災担当職員等を対象とした「気象防災ワークショップ」を実施。
- ・ 北海道が主催し雨竜町で開催する北海道地域防災マスター研修会において、気象庁ワークショップを実施した。
- ・ 秩父別町防災訓練で防災講演を実施した。

②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・ 大雨時に、警報・注意報など、適時的確な防災気象情報の発信を行った。
- ・ 電話による自治体等からの問合せに対して、のべ62回の気象説明を実施した（12/31現在）。

札幌管区気象台の地域防災支援の取り組み

平時



担当チーム（あなたの町の予報官）が市町村と緊密な連携関係を構築

- ・ 講演やワークショップによる防災担当者や住民への啓発
- ・ 地域防災計画修正や防災訓練への協力



非常時

- ・ ホットラインでの気象解説による市町村等の防災対応への助言
- ・ 市町村等へのJETT派遣での気象説明等による現地対応への協力



後日



- ・ 関係機関と災害時等の対応を振り返り、平時・非常時の業務へフィードバック

■次年度に向けた予定

①平時における地域防災支援

- ・ 令和8年出水期からの新たな防災気象情報について、防災関係機関、流域市町防災担当者や住民へ周知・啓発を行う。
- ・ これまでの講話や訓練における防災展示等の取組に加え、流域市町防災担当者や住民を対象としたワークショップの実施等、「我が事感をもった」実践的な防災啓発をととして、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を一層推し進める。

②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・ これまでの取組に加え、市町村等へのJETT（気象庁防災対応支援チーム）の迅速な派遣や、ホットラインでの詳細な気象解説による防災対応への助言。
- ・ 事後に関係機関と実施する「振り返り」による防災対応の取組の更なる改善。

【気象台】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発	

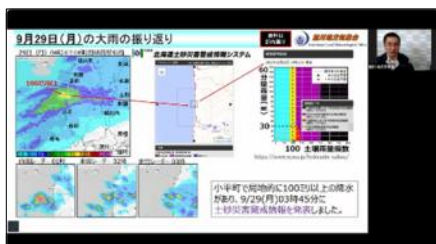
実施主体：
旭川地方気象台
(雨竜川外部会)

令和7年度 取組内容

- 気象情報が自治体等の防災活動に資するよう、市町村防災担当者等を対象とした、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を継続実施した。

防災連携TVによる気象解説(定時・臨時)

毎週木曜日の定期開催と警報級の可能性が高まったときに臨時開催。気象解説以外にも振り返りや参加機関含めた情報提供の共有。
(旭川・留萌各開発建設部、上川・留萌各振興局、気象台の共催)



自治体防災担当者との懇談

気象台が発表する各種防災気象情報の理解促進及び気象台へのニーズを把握、防災気象情報の改善に向けた意見交換を目的に、上川・留萌地方の各自治体防災担当者との懇談を毎年実施している。今年度においては、令和8年5月下旬から運用予定の新しい防災気象情報について説明を行った。

完成レベル相当情報(警報等)【改善後】

- 防災気象情報(大雨警報、暴風警報、大雪警報、高潮警報)を5段階の警戒レベルに区分して発表。
- 対象発表での危険度を整理するため、レベル4相当の情報を1段階警報を新設。
- 情報発表のみにレベルの数字を付与して発表。(例：レベル4相当の大雨警報)
- 危険度をさらに区分して発表する「警戒レベル」を新設する。(例：警戒レベル4)

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

大雨警報	暴風警報	大雪警報	高潮警報	注意	注意
5	レベル5 大雨警報	レベル5 暴風警報	レベル5 大雪警報	レベル5 高潮警報	注意(警戒レベル5)
4	レベル4 大雨警報	レベル4 暴風警報	レベル4 大雪警報	レベル4 高潮警報	注意(警戒レベル4)
3	レベル3 大雨警報	レベル3 暴風警報	レベル3 大雪警報	レベル3 高潮警報	注意(警戒レベル3)
2	レベル2 大雨警報	レベル2 暴風警報	レベル2 大雪警報	レベル2 高潮警報	注意(警戒レベル2)
1	警戒レベル1	警戒レベル1	警戒レベル1	警戒レベル1	注意(警戒レベル1)

洪水等に関する情報の主な変更点

- 洪水に関する情報は、洪水警報発令の対象となる河川ごとの情報とし、これまで一律の警報を発令していた。これにより、河川ごとの危険度をより正確に把握し、注意喚起の精度を向上させる。
- 洪水警報発令の対象となる河川は、これまで、国土交通省(河川)と国土交通省(河川)と連携して発表していたが、国土交通省(河川)と国土交通省(河川)と連携して発表していた。
- 国土交通省(河川)と国土交通省(河川)と連携して発表していたが、国土交通省(河川)と国土交通省(河川)と連携して発表していた。



令和7年10月1日(水)
幌加内町役場での懇談

次年度に向けた予定

- 「上川・留萌管内防災連携TV」による平時・緊急時の解説や「市町村との顕著事例振り返り」等を実施する。
- 自治体の防災担当者との懇談等をとおして、引き続き防災気象情報の利活用に関する普及啓発を実施する。

空知森林管理署北空知支署

【空知森林管理署】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：
空知森林管理署
北空知支署
(雨竜川外部会)

■令和7年度 取組内容

・令和7年度においては、森林の有する土砂流出防止や水源涵養機能等の適切な発揮に向けて森林整備(間伐、植栽等)及び治山事業を実施した。

実施前



上流既設堤体の損傷・洗堀が進行している状況

実施後

治山施設の設置



溪間工(治山ダム)の設置による溪床の安定化

引き続き、流域治水の取組と連携し森林整備(間伐、植栽等)及び治山事業を実施予定です。

東北北海道整備局
北海道水源林整備事務所

【森林整備センター】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	森林の水源涵養機能維持・向上のための森林整備	

実施主体：
森林整備センター
(雨竜川外地域部会)

- 令和7年度 取組内容
- ・流域治水に資する除間伐等の森林整備を実施。

間伐実施前



間伐実施後



次年度以降も除間伐等の森林整備を計画的に実施

空知総合振興局 産業振興部

- ・整備課
- ・東部耕地出張所
- ・北部耕地出張所

上川総合振興局 産業振興部

- ・整備課
- ・上川中部整備室

【空知総合振興局】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	排水路の整備や田んぼダムの取り組み	

実施主体：空知総合振興局整備課

(千歳川外、夕張川上流、幾春別川外、雨竜川外、空知川) 共通

■令和7年度 取組内容

- 農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理(田畑の整備)を実施

農業用水利施設(排水路)の整備



田んぼの整備



令和8年度も引き続き、農業農村整備事業による排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理(田畑の整備)を推進

【上川総合振興局】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	水田の貯留機能向上	

実施主体：
上川総合振興局
産業振興部整備課・
北部耕地出張所
(雨竜川外地域部会)

■ 令和7年度 取組内容
・ 関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行った。

実施内容

「田んぼダム」の手引き

令和4年4月
農林水産省 農村振興局 整備部



施策の内容

概要

- 「田んぼダム」とは、「田んぼダム」を実施する地域やその下流域の潜水被害リスクを低減するための取組です。
- 水田の落水口に流出量を抑制するための堰板や小さな穴の開いた調整板などの器具を取り付けることで、水田に降った雨水を時間をかけてゆっくりと排水し、水路や河川の水位の上昇を抑えることで、溢れる水の量や範囲を抑制することができます。

【「田んぼダム」を実施】

【「田んぼダム」を未実施】

流域治水施策集より

次年度に向けた予定 など
・ 関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行なう。

空知総合振興局 産業振興部

- ・林務課
- ・森林室

上川総合振興局 産業振興部

- ・林務課

【空知総合振興局】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制のための森林整備	

実施主体：北海道空知総合振興局産業振興部
林務課

(雨竜川外地域部会)

■令和7年度 取組内容

- ・ 滝川市、砂川市、深川市、歌志内市、奈井江町、浦臼町、新十津川町、秩父別町、雨竜町、北竜町、沼田町、上砂川町において森林整備事業(間伐・植栽等)を実施

森林整備事業(間伐)【深川市】



森林整備事業(植栽)【深川市】



■次年度以降の取り組み(予定)

- ・ 要望のあった市町において森林整備事業(間伐・植栽等)を実施する予定

【空知総合振興局】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：
空知総合振興局森林室
(雨竜川外地域部会)

■令和7年度 取組内容

- ・神楽岡地区復旧治山工事(歌志内市)を実施
- ・温泉地先復旧治山工事(歌志内市)を実施
- ・文珠地区予防治山工事(歌志内市)を実施
- ・空知団地育林事業を滝川市、深川市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町にて実施
- ・トップ地区保安林総合改良工事(新十津川町)を実施
- ・東奈井江保育工事(上砂川町)を実施



溪間工(治山ダム等)の実施状況



植栽の実施状況



山腹工(法枠工等)の実施状況



間伐の実施状況

次年度に向けた予定 など

- ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施
- ・森林整備事業(間伐、植栽等)の計画的な実施

【上川総合振興局】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	森林の水源涵養機能の維持・向上のための整備	

実施主体：
上川総合振興局林務課
(雨竜川外地域部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、幌加内町の森林において、水源涵養機能の維持・向上のための間伐及び造林等の事業を実施し、「流域治水」の推進を図った。

保育間伐前の状況



保育間伐後の状況



植栽前の状況



植栽後の状況



次年度に向けた予定

次年度以降も引き続き計画的に間伐及び造林等の森林整備を実施予定

空知総合振興局
札幌建設管理部

上川総合振興局
旭川建設管理部

【札幌建設管理部】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	堤防整備、河道掘削及び河道内伐木を実施	

実施主体：
札幌建設管理部
(雨竜川外地域部
会)

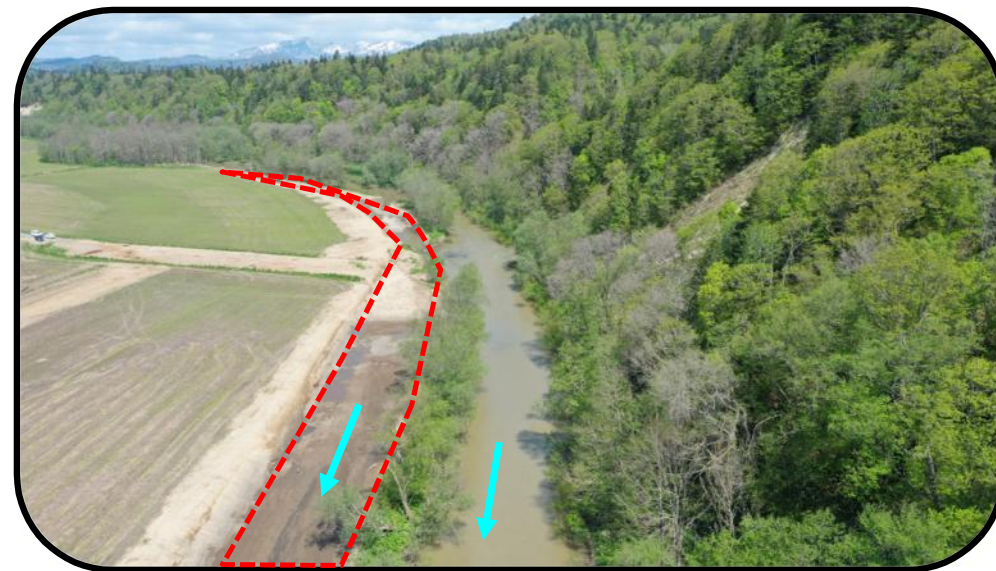
■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、継続実施していた雨竜川、ラウネ川の河道掘削を実施し「流域治水」の推進を図った。

ラウネ川(実施後)



雨竜川(実施中)



次年度に向けた予定 など

- ・ 次年度以降も引き続き、継続実施している雨竜川等の河道掘削等を実施する。

【上川総合振興局】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	1日防災学校の企画・支援／市町村が実施する訓練・研修・講習会等への支援	

実施主体：
上川総合振興局
(雨竜川外部会)

■令和7年度 取組内容

- 1日防災学校では、ハザードマップ(リスクの空白地、分散避難、立ち退き避難・屋内安全確保等にも付言)や、逃げ遅れの原因となる心理状態(正常性バイアス)等について、クイズやグループ討議等により理解を促し、地域防災力の強化につなげる。
- 市町村が実施する災害対策本部訓練、避難所運営訓練の企画・実施を支援し、災害対応力の向上に寄与。

令和7年度に上川管内で実施した(予定含む)各種支援

日時	訓練名	対象者
7/6	和寒町防災研修会	住民
7/15	幌加内中学校 1日防災学校	中学生、教員
7/28	幌加内町災害対策懇談会	関係機関、住民
8/3	富良野市災害対策本部訓練	職員、関係機関、住民
8/28	東神楽小学校 1日防災学校	小学生
9/1	和寒中学校 1日防災学校	中学生、教員
9/5	比布中央学校 1日防災学校	小・中学生、保護者、関係機関
11/4	大雪山火山噴火防災訓練	職員、関係機関
11/5	中富良野町住民避難訓練	職員、関係機関、住民
2月中旬	十勝岳火山噴火総合防災訓練	職員、関係機関、住民



東神楽小学校 1日防災学校



富良野市災害対策本部訓練

次年度に向けた予定 など

- 地域の要望等を踏まえながら関係機関と共に取り組んで行く。

【上川総合振興局】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	防災に関係する各種研修会の開催	

実施主体：
上川総合振興局
(雨竜川外部会)

■令和7年度 取組内容

- ・ 平常時や災害時における防災知識を習得し、地域における防災活動のリーダーとして地域防災活動を推進する「北海道地域防災マスター」を育成するため、新規認定研修会や、マスター登録者の知識の向上等を目的としたフォローアップ研修を開催。
- ・ 道民の方々に避難所生活や避難所運営を自分事としてとらえ、地域の防災対策の課題をみつけやすくすることを目的に道が作成している、「避難所運営ゲーム(HUG)北海道2025(愛称:Doはぐ)」の実施に必要な講師を養成する研修会を開催。



Doはぐ講師養成研修会 in 美瑛2025



北海道地域防災マスター認定研修会
in 中富良野町



Doはぐセット

次年度に向けた予定 など

- ・ 地域の要望等を踏まえながら関係機関と共に取り組んで行く。

【旭川建設管理部】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

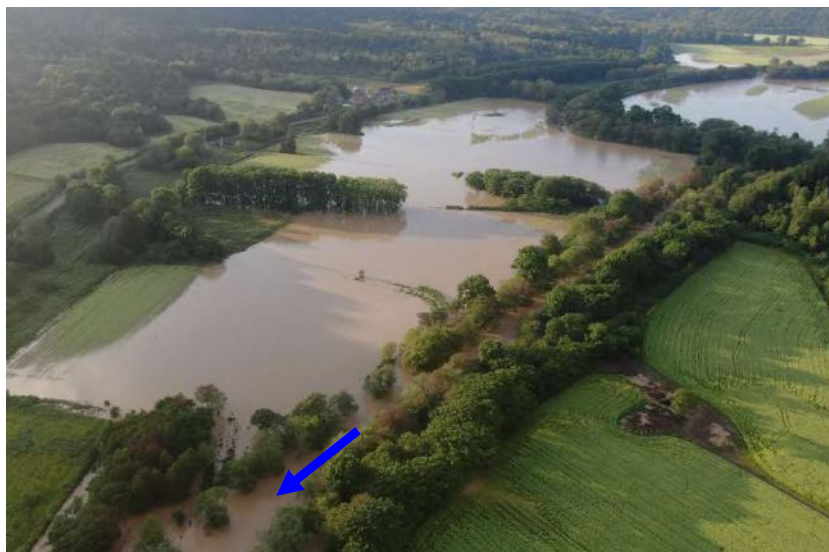
	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	河道掘削	

実施主体
：旭川建設管理部
(雨竜川外部会)

■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、継続実施していた雨竜川の河道掘削を実施し、「流域治水」の推進を図った。

実施前



実施後



雨竜川

次年度に向けた予定

- ・引き続き、雨竜川の河道掘削を進める。

札幌開発建設部

【札幌開発建設部】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	

実施主体：
札幌開発建設部

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、継続実施していた雨竜川での樹木伐開を実施し「流域治水」の推進を図った。

実施前



実施後



令和8年度取組予定

引き続き令和8年度の取組を継続実施

【札幌開発建設部】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	

実施主体：

令和7年度 取組内容

・R7年度においては、継続実施していた出前講座、砂川市、幌加内町、新十津川町で降雨体験装置を設置運営し、「流域治水」の推進を図った。

実施内容

実施内容



令和8年度取組予定

引き続き令和8年度の取組を継続実施